

自立と共生！

たくましい日本！

No. 158号

民主党 中川正春の 永田町かわら版

2002年3月20日

〒100-8981 千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館 428号

TEL 03-3508-7128 FAX 03-3508-3428

○特別会計のどんぶり勘定

行革はここから

私達のところには、役所の皆さんが入れ替わり立ち代り法案や予算の説明に来ます。今日は、厚生省の国立病院課の担当が、国立病院や療養所の独立法人化について、具体的な議論の経過を説明していきましました。私の身近な施設では鈴鹿の国立療養所がこれにあたります。

ここ2、3年で50箇所ほどの統廃合で、現在204箇所の施設が、総予算1兆円規模で運営されています。なかでも、国立がんセンターなどの先端医療研究施設16箇所とハンセン病施設は、今のまま、国立施設として運営。その他は、全て独立行政法人化されます。

びっくりしたのは、現在のどんぶり勘定。1兆円規模の会計が、独立した病院特別会計で処理されています。収入は各病院からの医療保険を中心にした診療報酬。支出は、別個の公務員定員法などに基づく人件費や、老朽施設の建て替え計画、先端医療機器などへの投資など、収入とは関係のない体系から生まれる要求で予算が組まれています。この結果、差し引き1200億円の単年度赤字。毎年、一般会計から税で補填されていますが、これまでの累積赤字が8000億円にのぼり、それが毎年増えつづけていると説明していきましました。

こうした「特別会計」が、他にも沢山あります。特殊法人の見直しは、このどんぶり勘定「特別会計」を、根本的に解体して、独立採算の民営化と税金投入の公営とを峻別する事からはじめるべきだと思います。小泉さんは、名前を変えてごまかそうとしています。

○私は、刑事告発人

宗男疑惑に司直の手を

今日(3月18日)、鈴木宗男議員を、偽証罪で告発

議員などが入っているの、今日は、私も大船に乗ったつもりで、告発状を携えて高検を訪れました。

具体的な罪状は、二点。

まず、国後島の通称「宗男ハウス」建設にからんで、根室地域に十分な実績のある業者などの条件に合うのは、鈴木議員の支援者である渡辺工業などに絞られる事を知っていて、発注者の支援委員会に圧力をかけた。証人喚問では、鈴木議員は自分はこのことを知らなかったと発言。ウソをついた。

第二に、鈴木議員の秘書であった、コンゴ人のムエテ・ムルワカ氏が、公的な身分を主張していた事について、鈴木議員自身は、全くそのような認識はなく、私人として秘書に採用したと主張。これも、外務省から提示された資料によると、ウソである事ははっきりしています。

その他、あやしい問題は、山とありますが、今回は確実なところで絞り込んで、この二点になりました。さらに、偽証罪以外にも、職員に対する暴力事件や、受託収賄罪など告発できる罪状はありそうなので、証拠が固まり次第順次やろうという事になっています。

この時期にとりあえずこの二点で告発に踏み切ったのは、もう一つ大切な理由があります。疑惑の百貨店だといわれる鈴木宗男問題です。国民は、検察や警察が、早く動き出して、彼の犯罪をしっかりと捜査すべきだと思っています。今回の告発の受理がきっかけになって、東京地検特捜部が、本格的な捜査に入る事を期待しています。

○防衛庁を訪問

今週は、防衛庁に行って、緊急時に使われる中央指揮所を視察する機会がありました。日本が、まさかの攻撃を受けた時、首相官邸、内閣府と順番に危険にさらされ、参謀本部の最後の砦として地下三階に用意された指揮所が、市谷に新築された防衛庁にあります。

核シェルターの司令室は、大画面のスクリーンと

しました。検察庁などという所は、普通の人めったに行くところではありません。一般には、犯罪者が呼び出されるわけですから、殺風景な場所です。

告発人は、元検察官の小川敏夫参議院議員、弁護士の木島日出男衆議院議員や大脇雅子参議院

コンピュータが印象的。そこに座ると映画の世界と錯綜してきます。しかし、現実なんですね。

中川正春